

# 「不正防止対策特別委」活動再開

## 全日遊連 1月理事会

全日本遊技事業協同組合連合会（原田實理事長）では1月20日、全国理事会開催に伴う定例記者会見を、東京・港区の第一ホテル東京において開催した。

### 協議事項

説明によると、現状不正防止の活動は、健全化推進機構、全日遊連の不正防止対策本部、各県が設置する不正防止委員会等が存在し、それぞれ活動を行っている。その経費はホールからの提出金で賄われており、かなり重い負担となっている。そのため、今後の不正防止対策の在り方を整備し、負担を軽減する方向を組織の在り方も含め検討するため、「不正防止対策特別委員会」の活動を再開することが提案された。同特別委員会は、平成20年の6月理事会において、初期の目的が達成され、当面の役割が終わったとして休止決議されていた。活動再開は、協議の結果その方向が了承され、今月中に第1回会合を開く予定の他、短期間で結論を出していくこととなった。尚メンバーは、千葉の大成副理事長、函館の光金理事、青森の大西理事、山形の井上理事、東京の飯田理事、広島島の池田理事、福岡金本理事。

### 報告事項

○12月14日に開催されたパチンコ・パチスロ産業21世紀会について  
説明によると、平成19年11月を最後に開催されていなかった同会合が、2年ぶりに、警察庁の廣田保安課長の出席を得て開催された。席上、全日遊連から以下の内容の提案がなされている。

1) NPO法人リカバリーサポートネットワークへの支援のお願いを行った。↑依存に関する



問題は、業界全体で取り組むべき問題であるという観点から。

2) 環境問題に対するホール5団体の取組みについて報告。以下、昨年11月11日開催のホール5団体小委員会合意事項。

・CO2削減ライトダウンキャンペーンへの参加  
・チームマイナス6%からチャレンジ25%への参加  
・屋内設置の清涼飲料水自動販売機の営業時間外の消灯  
・電力削減ノウハウ集のポスター作成検討

3) 昨年11月に業界4団体（全日遊連、日遊協、日工組、日電協）合意がなされた内容について、さらにその運用方法について検討を行っている経過報告。

4) 同友会から出されている公的融資、信用保証についての取組みを21世紀会でも支援していく事。「もっと知ってもらおうパチンコ・パチスロ産業フェア」の開催についての検討を行う。

○全日遊連「環境自主行動計画」関係について  
参加組合員ホールに対し実施している「2008年度ホールにおける電気使用量等調査」の集計結果概要が発表された。

調査対象ホール数は、1万1805ホールで、回答はそのうち9669ホール（カバー率81.9%：前年度より微増）から集まった。有効回答数は、9435ホールで、前年度より3.1%多い79.9%であった。

有効回答ホールによる総使用量は、81億2918万2930kWhで、CO2排出量は368万t（電気事業連合会の公表値（0.453kg/CO2/kWh 2007年度実績）を使用して算定）。これを調査対象ホールに換算してみると、CO2の推定排出量は461万tとなった。有効回答ではCO2排出量は6万トン増えたが、逆に推定排出量では10万トンの現象となっている。

これを基にした、①「排出量/延床面積」（1平方メートル当たりの年間CO2排出量）②「排出量/（延床面積×平均営業時間）」（営業時間が1時間とした場合の1平方メートル当たりの年間CO2排出量）③「排出量/台数」（遊技台1台当たりの年間CO2排出量）④「排出量/（遊技台数×平均営業時間）」（営業時間が1時間とした場合の遊技機1台当たりの年間CO2排出量）は、以下の通りとなっている。

①64.8kg（前年度409kg）  
②27.5kg（30.7kg）  
③1064.7kg（1032.2kg）  
④80.2（77.5kg）

○全日遊連（一般用）ホームページにおける詐欺と思われる「攻略法」販売等に関する注意喚起について  
週刊プレイボーイで掲載され

た（2009.8.24～8.31合併号/2009.12.28号）パチンコ打ち子詐欺、パチンコ詐欺の救済詐欺に関する報告があった。12月28日号では、全日遊連も取材協力しており、全日遊連が、警察とも協力して詐欺被害者の相談や悪質業者の洗い出しに動いていることや、「詐欺被害者の話を聞くと、攻略法サイトに登録する際、簡単に自分の個人情報を渡してしまっています。面識のない人間に自分の個人情報を与えることにもっと危機意識を持ってください。そして、もし攻略法詐欺などにひっかかってしまった場合は、素性をはっきりしない「救済サイト」などに頼るのではなく、警察が私たち全日遊連にまずは相談してください」といったコメントが紹介されている。

昨年12月号5ページ掲載の全日遊連理事会記事のリードの中で、へで明らかにされたところによると、反対11、棄権4だった」という数値は、反対7、棄権4の間違いでした。お詫びして訂正します。

